



アドバイザー

この文書の印刷後、ソーラーガードはサンゴバンパフォーマンスプラスティックス社に買収されています。ソーラーガードは現在サンゴバン社の子会社です。この文書内のBekaert(ベカルト)、Bekaert Specialty FilmsまたはBekaert Specialty Films LLCに関する記載事項は、法的文書やコピー及び著作権に限らず、全て無効です。この文書内に明示された、または記載された全ての権利と責任は、Bekaert Specialty Films, LLCからサンゴバンへ譲渡されています。

サンゴバン株式会社
〒102-0083 東京都千代田区麴町3-7
TEL 03-5216-7511 FAX 03-3263-0286
E-mail: info.solargard.jp@saint-gobain.com
www.solargard.com
www.solargard.jp



A better environment inside and out.™

プレスリリース

2010年11月17日

メディアコンタクト
Traci Simpson
Matter Communications
+1-978-499-9250 x 234
solargard@matternow.com

ソーラーガードウィンドウフィルムは、更なる透明性を求めて、最大級の環境製品宣言(Environmental Product Declaration:以下EPD)を公表します。

ソーラーガードの省エネルギーウィンドウフィルムは、ネットポジティブインパクトを世界中で提供することを証明します。

今日ソーラーガードは、[ソーラーガード](#)建築用日射遮蔽フィルムがネットポジティブインパクトであることを科学的に立証する環境製品宣言(EPD)を取得し、結果を公開しています。EPDとは製品の環境負荷を全体的に評価するものです。ライフサイクル分析(LCA)とその報告に関するISO14040及び14025基準に基づいて実施され、製品環境性能を認証する最も包括的な方法として世界的に広く認められています。30以上の建築用日射遮蔽ウィンドウフィルム製品の全生涯（原材料調達～生産～輸送～廃棄）の環境影響を公開することで、ソーラーガードはその透明性への責任を明確にし、建築業界とその消費者に対して環境に配慮した意思決定をするための情報を提供しています。

ソーラーガード製品のEPDデータを審査した機関であるアルタノバ社の責任者は、『ソーラーガードのEPDはこれまで完了した中で最も大規模なEPDです。』（注釈I）と認めています。また、『彼らは、最も広い地域の最も多くの建造物を分析し、今日までの、他のどの製造業者よりも多くの製品を研究しました。』と述べています。ソーラーガード製品のEPDは、米国製の製品を主とする『[グリーンスタンダード](#)』と欧州にある『[国際EPDシステム](#)』の2つの主要なEPD認証機関に登録されました。

ソーラーガードの建築用日射遮蔽フィルムは、室内温度を安定させ普通のガラスを高性能窓へ変えることで、建物内の冷房負荷エネルギーを30%削減します。それによって、ソーラーガードは建物のカーボンフットプリントの削減に役立ちます。『ソーラーガードウィンドウフィルムは、建築の改修市場において最も古くから使用されている製品の一つであり、私達の省エネルギー製品の効果を立証することで、信頼性ある環境面における責任を明らかにしたことは、業界初です。私達は環境性能を謳う全ての製造業者が、透明性への責任を持つべきと考えます。今回の調査はソーラーガードウィンドウフィルムが、建物外皮を改善する上で、実行可能で正当な省エネルギー製品であり、且つ環境面における責任を考慮した解決方法であることを科学的に証明するものです。』とソーラーガード社長のChristophe Fremontは語っています。

『多くの企業が、環境にやさしく、省エネ効果があると公言していながら、その主張を裏付ける科学的根拠を持たないことは恐ろしいことです。製品の環境影響を測定する国際基準がないという主張は、環境保護宣伝を続けるための言い訳にすぎません。』

消費者側のEPDのメリット

EPDは、製品の完全な環境影響を測定するシステムとして最も広く認知されるものとなりました。また、EPDは消費者のグリーンラベルに対する混乱をなくす一助となり、企業が発する主張に対し責任を持ち続けることです。ソーラーガード製品のEPDは、原材料の調達から、生産、世界90ヶ国以上への供給、廃棄までを含

むソーラーガード日射遮蔽ウィンドウフィルムが作り出す環境に対する負荷（マイナス）が、ソーラーガードウィンドウフィルムを施工することにより生み出される省エネルギー効果（プラス）によって相殺され、最終的にポジティブインパクト（プラス）になることを証明しています。

ビジネス上のメリット

大気中のCO₂(二酸化炭素)排出量の約40%が、商業用建物から出るものであり、今後25年以内に大幅に増加すると予想されています(注釈Ⅱ)。窓に関連する日射熱取得は建物改修の理想的なターゲットとなります。しかしながら製造業者からの適正な情報公開が無い状況において、施主がエネルギー削減を唄っている窓を設置しても、実際に総合的な環境影響を測定してみると、その効果がない場合もあります。購買責任者や調達担当者、エネルギー専門家は、建物に使われる製品のEPDを評価し、建物全体におけるライフサイクル評価を測定するようになるでしょう。『一般法人や、教育機関、政府などの団体は、科学的に検証された環境性能レポートを提供する製造業者の製品を優先しています。』と話すのはThe Green Standard 社長のDeborah Dunning氏。

『先進的な企業の購買責任者は、多様なステークホルダーの期待に応えるべく、LCAに基づいた環境製品宣言(EPD)を採用しています。』

ソーラーガード製品のEPD及び関連資料は<http://www.solargard.jp/energy/home>よりダウンロードできます。

ソーラーガードについて

ソーラーガードは、『保護』、『保存』、『再生』をキーワードに、生活へ積極的に貢献します。ソーラーガードの建築、自動車及び産業用フィルムは、ベカルトスペシャルティフィルムズ社（カリフォルニア州にあるISO14001:2004,ISO9001:2008認定を受けた工場）にて製造されています。コアミッションである環境への責任において、ソーラーガードはカーボンフットプリントを証明し、Climate Action Leaderの称号を受けました。わが社の建築用日射遮蔽フィルムはカーボンネガティブで、温室効果ガス排出量の削減に役立ちます。ソーラーガード製品は90ヶ国以上で販売され、何千もの企業家へ暮らしを提供しています。詳しくは弊社ホームページwww.solargard.jpをご覧ください。

注釈Ⅰ 2010年11月16日時点国際EPD認証機関調べ

注釈Ⅱ 米国グリーンビルディングカウンシル、ビルディングアンドクライメイトチェンジによる、米国を対象とした試算です。